

## 「第 4 回交通基本法検討会」

平成 22 年 1 月 20 日  
一畑電鉄労働組合  
(交通労連島根県支部)  
執行委員長 土井正明

## 中規模都市における地域公共交通について

はじめに

地方の公共交通に従事する従業員の代表としての立場で意見を述べさせていただきます。私が、在籍します島根県の一畑電気鉄道株式会社を本社とする一畑電車(株)、一畑バス(株)の取り組み、事業内容については別紙にて提出させていただいております。

さて、民主党の掲げるコンクリートから人へという政策転換は、現場で働く我々も求めてきた事であり、特に危機的な状況にあると言われる公共交通に従事するものにとつては、それが職場の確保、労働条件の維持、向上につながるものとして、期待するところは大きいです。

規制緩和以前の公共交通に関わる事業所は、民間企業でありながら収益よりも責任・義務という考え方で公共交通部門では赤字を出してでも地域住民の足を守るという観点でその事業を続けてきたものでした。その中で、労働力集約型の産業であるがこそ地域との連帯を強め、その関わりから成り立つ周辺事業の収益を投入しつつ、事業継続をしてきたのが実態です。

しかしながら、都市部に即した考え方で判断され行なわれた規制緩和の影響で、特に地方の公共交通に関わる多くの企業がダメージを受けました。中でも参入、撤退の自由はこれまでの責任・義務を度外視し、事業として成り立つかどうかだけで判断するという、公共とかけ離れた要素が加わったように感じています。その結果赤字路線の維持が困難と判断した企業の撤退による交通空白地帯の発生を自治体が防ぐために、コミュニティバスや白ナンバー運行など、様々な緊急避難的措置を利用したものが入ってきて、今の状況を生んでいると思います。さらに少子・高齢化の進展は地方ほど深刻であり、人口減少は歯止めが利かず、中山間地ではさらに厳しい状況であり、デマンド型であるとかNPOによる運行や福祉に絡めたものなど様々な形態が生まれてきているものと感じています。

よって、今一度根底に立ち返って考えるとき、基本は基本として定める事は必要であり重要ですが、その運用にはこれまでの制度を含めてきちんと見直しを行い、新たなものは地域性を含めてそれぞれに併せたものとするようお願いいたします。

1. 市町村や地方の現場の立場から見た移動の権利や交通計画の策定について

法律とは全ての国民に対して平等でなければならないと思います。したがって、移動の権利を規定する場合、その最終的な保障は全ての項目に対して国であるべきと考えます。

役割分担については、基本的に上下分離方式で考え、環境の整備を公が担い、運行を民間企業が請け負うべきであると考えます。注意すべき点は、その具体的な運行に携わる事業所の選定も含めて国が関与しなければ、収支状況の違う都道府県、あるいは市町村の判断にまかせると、現在のように入札で金額重視となることが予想されます。

よって、移動の権利を国民一人一人に真の平等とするためには道路、鉄道、空路、海路の全てを同一に考え、都道府県、市町村単位のものでなく、国内の交通網を作り上げる計画でなくてはならないと考えます。

2. 地域公共交通に関する取り組みのきっかけ、進める上で困ったこと等について

現在、労働組合の執行委員長として会社とさまざまな施策を協議していますが、特に規制緩和以降で公共交通部門に関しては、最終判断が大きく変わりました。それまでは、働くものの権利だけを追求するのではなく、利用者側の立場にもなり、より内容を重視した改革に努めてきたと自負しています。しかし、会社の経営的な判断による路線の撤退などは、地域協議会等、対外的な要因での決定が先行し、利用者の立場での要望が出来ない事案が急増しました。また、営業施策においては、流動的なものが増え、途中で打ち切り企業に任せるなど、事業所が経営的にも振り回されることが多くなっています。

そこで、連合、交通労連、交運労協といった上部団体の立場で地域協議会等に参加し、意見を申し述べるようになりました。そこでの協議の主眼は交通空白地帯を作らないようにすることにおかれ、これまで長期間その路線を維持してきた事業所がなぜ撤退せざるを得なくなったのか、どうしたら同一の事業所でその路線を維持していけるのかではありません。現在のままでは陸の孤島的な場所が各地に現れ、緊急時にはまったく移動の手段すらないような地域が多く見られるようになってしまします。結果的にそこには人がいなくなるでしょう。

よって、国民が安心・安全に利用できる公共交通を担う事業所は国が認定をし、人命を預かる適正な労働条件で企業が運営できる統一的な基準を設けなければならないと考えます。

### 3. 合意形成、規制、財源について

全ての公共交通に関わる経費を全国で割って見たら国民一人当たり一体いくらになるのでしょうか。私にはわかりませんが、そういった比較があれば、利用者が負担する運賃と自家用車にかかる費用と比べて考えられるのではないのでしょうか。

現在は都市部には対象となる人口が十分すぎており、地方はそれが少なすぎるのが自家用車の依存につながっていると思います。より利便性の高いものを手段として選んでいるだけと考えられます。

よって、思い切った市内乗り入れ規制などの施策により、国がハンドリングしてはどうかでしょうか。また全国統一時刻表の設定などしていけば、定時制の確保の違いから、各都道府県、市町村別の道路環境の差など明確になってくるものと考えています。

財源はより便利なものを選択するほど、高速なものを選択するほど高くなるべきですから、それを振り分けていけば交通弱者の救済にもつながると思います。

### 4. 今後の交通体系のあり方について

少子高齢化が急速に進展しているからそれに併せて今後の交通体系を模索するという事は、国として今の状況が致し方ないものと考えていると受け止めます。私は、対応策を検討するのではなく、国民全体でどうしたら子供が増えていくのかを検討してほしいです。それが真の人への政策転換だと思います。

地球温暖化対策は、高速道路の施策など逆行しているようにしか思えません。これまで、観光やビジネスという用途だけ取ってみても選択肢に自家用車がなかったものが、これにより大幅に増加しました。貸し切りバス、JR、都市間バスの需要の低下を見ればこれは明白です。おのずと環境悪化につながっているとしか思えません。また、都市間バスに影響が出て悪化につながったのは環境だけでなく、その利益を県内のバス路線維持に使っている企業、そこで働く乗務員にも出ていることも付け加えておきます。

今後の交通体系を模索していく上で、第一に考えていただきたいのは、抜本的に見直さず、一部を暫定的に行ってきたことで、多種多様の矛盾が生まれてきていることです。これは、都道府県、市町村単位ごとに異なりますから具体的なものは挙げませんが、今回基本法の制定と同時にそれを解決していただきたいをお願いします。

## 【鉄道関係】

### 1. 島根県東部の交通状況

島根県東部（宍道湖周辺、松江市・出雲市）の交通状況は、宍道湖北部を出雲市～松江市に一畑電車通り、一畑電車に並行して国道431号線があり、宍道湖南岸に国道9号線とJR山陰本線が通っている。

道路整備は着実に進捗しており、今後の整備構想もある。

松江市に通勤、通学する人が利用する交通手段の割合では、自動車が増えている反面、電車・バスの公共交通手段が減少している。

電車（一畑電車、JR山陰本線）とバス（一畑バス、松江市営バス、コミュニティバス）との交通ネットワークは、一部競合している部分はあるが、比較的良好である。

### 2. 一畑電車の沿革

別添資料1参照

### 3. 一畑電車の輸送人員の推移

別添資料2参照

### 4. 地方中小鉄道（一畑電車）の輸送の実態

地方中小鉄道の輸送の実態は、通勤で利用する人はあるものの、中心となるのはやはり交通弱者（高校生以下の通学生、60歳以上の老人、身体障がい者）と旅行客となっている。

#### 交通弱者に向けての施策

- ・シルバーきっぷ（県内在住の満65歳以上の方を対象に全区間を1日乗り降り自由）
- ・一畑電車高齢者利用券（松江市が発行し、一人10枚綴りで1枚100円券）
- ・身体障がい者割引（国の法律に準じた制度）
- ・通学定期券の学期定期券の創設

#### 旅行者に向けての施策

- ・1日フリー乗車券（1,500円で全区間を1日乗り降り自由）
- ・のんびりポタポタチケット（3,500円で電車とレイクラインバス、遊覧船の乗り降り自由、1,000円の食事券付）
- ・縁結びパーフェクトチケット（3,000円で3日間の電車、バスの乗り降り自由）

### 5. 現在の地方自治体との取り組み

一畑電車の経営状況は、昭和39年以降では経常収支が赤字が続いており、昭和49年以降、国からの欠損補助金を受けていた。平成5年には沿線の自治体と共同で経営改善5ヶ年計画を策定したが、依然赤字の状況は変わらず、平成9年度に国からの欠損補助金は打ち切りとなった。

平成9年度～平成13年度には新経営5ヶ年計画を策定し、欠損限度額を定めて沿線

自治体から欠損補助金を受けていた。最終的には沿線自治体からの欠損補助金は平成18年度まで継続されたが、この間、平成14年度には特別交付税措置が終了し、自治体の負担額は増加している。

平成19年度～平成23年度は沿線自治体からの支援により、一畑電車基盤整備維持補助金として、上下分離方式の形で支援を受けている。

現在はこれまでの検証を含めて、「一畑電車に関する地域公共交通総合連携計画」を策定中である。

## 6. 地球温暖化対策についての取り組み

自動車と比較して大量輸送という観点からCO<sub>2</sub>排出量が非常に少なく、電車利用者を増加させることは、地球温暖化対策に直接的に結びつく。

一畑電車では、事業者対応として以下の取り組みを行っている。

- ・ファミリーパスポート制度（通勤定期券を持っている方で、本人及び同伴家族は土曜日曜、祝日に全区間200円で乗車）
- ・通勤定期助成制度（4月～12月に発行する通勤定期券で、3ヶ月10%、6ヶ月15%の割引をする。ただし、補填は沿線自治体がする）
- ・レール&サイクル（一畑電車全区間を1回300円で車内に自転車を持ち込める。回数券は5枚綴りで1000円）

## 7. 地方中小鉄道（一畑電車）の大きな問題点

- （1）需要の低迷（輸送量の減少から経営の悪化）から、鉄道の存続・維持自体が問題となっている。
- （2）施設の老朽化、保安度の向上・近代化設備への更新難、遅れが起因となる安全性確保の困難。
- （3）人材確保と技術力維持の困難性。

## 8. 今後、継続する総合的な問題点・課題・取り組むべき事項

- （1）モータリゼーションの進展
- （2）沿線人口の減少と少子高齢化の進展
- （3）デフレ経済（地方経済の低迷）
- （4）国、地方自治体の財政状況
- （5）魅力ある交通機関への転換
- （6）現在の利用者の声、今まで利用したことのない人の声の把握
- （7）鉄道とバスの乗り継ぎ円滑化を含めた総合交通形態の検討

## 9. 基本的な考え

国が基本的な方針、地方自治体が具体的な交通計画を定め、民間企業が運行するというシステムはいい形であると思われる。

国民の移動に関する権利を補償し、平等にするには、地方中小鉄道では地域の基礎的な社会的インフラであるので、地域が一丸となって支えるという視点が極めて重要であると考えられる。

しかし、現状では民間企業だけで運行を存続・維持していくことは困難であり、こういう視点からも、国・地方自治体が公的支援をすることが必須条件となる。安全性の確保という大きな壁が公的支援とどのように関係していくのかが問題となる。さらに、交通弱者、地球温暖化対策に向けての施策に対する補填についても、国、地方自治体が行っていくことを要望したい。また、地方中規模都市において公共交通は「都市の装置」として活用していかなければならない。

#### 10. 国の役割に対する要望

- (1) 地方自治体が具体的な交通計画を定めるということは、財政支援も含めてのこととなるものと思われる。しかし、地方自治体がこの財政支援を実施するには、財政源を地方交付金からとなり、減額傾向にある中で十分な財政支援が確保できないため、別途支援のシステムを構築してほしい。
- (2) 近代化補助、踏切補助による財政支援。
- (3) 実態にあった適切な保守レベルの検討。
- (4) 全国の事業の情報を収集し、地方中小鉄道事業者へ適切なアドバイス。
- (5) 地方自治体との連携強化、安全面での助言。
- (6) 街づくりと交通機関は欠かせないものという位置づけをし、国も含めて都市地域整備行政、道路行政との連携、協力。

### 【バス関係】

1. 一畑グループの沿革  
別添資料参照
2. 一畑バス設立以降の動き  
別添歴史年表参照
3. 県内路線輸送人員の推移  
別添資料参照
4. 要望  
地方の公共交通は規制緩和に適さない事業として認める事。  
高速道路料金の適正化。  
地方自治体ごとに異なる各種制度の国内統一化。  
これまでの各種地方の区分けの見直し。  
各種施策を完結させる事。

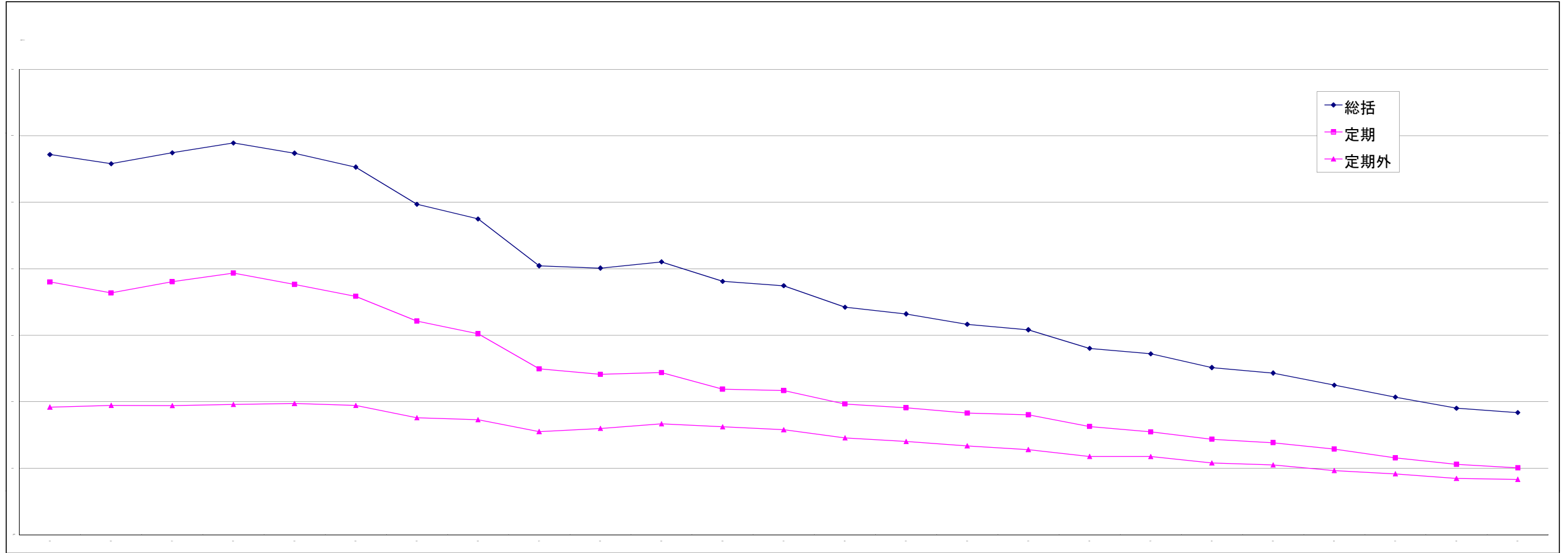
## 一 畑 電 車 沿 革 の 概 要

- 明治 44. 8. 21 出雲今市～一畑間の軽便鉄道敷設免許（現在の電鉄出雲市～一畑坂下間）  
 // 45. 4. 6 一畑軽便鉄道株式会社を平田町に創立
- 大正 3. 4. 29 出雲今市～雲州平田間の運輸営業を開始（現在の電鉄出雲市～平田市間）  
 // 4. 2. 4 雲州平田～一畑間の運輸営業を開始（現在の平田市～一畑坂下間）  
 // 13. 9. 3 小境灘～北松江間の鉄道敷設免許（現在の一畑口～松江温泉間）  
 // 14. 7. 14 社名を「一畑電気鉄道株式会社」と改称  
 // 15. 10. 9 川跡～大社神門間の鉄道敷設免許（現在の川跡～出雲大社前間）
- 昭和 2. 10. 1 出雲今市～一畑間を電化して運輸営業を開始（現在の電鉄出雲市～一畑坂下間）  
 // 3. 4. 5 小境灘～北松江間の運輸営業を開始（現在の一畑口～松江温泉間）  
 // 5. 2. 2 川跡～大社神門間の運輸営業を開始（現在の川跡～出雲大社前間）  
 // 19. 11. 6 小境灘～一畑間の鉄道路線（3.3 扣）の軌条を企業再建整備のため運輸省より供出を命ぜられて撤去、営業を休止（現在の一畑口～一畑坂下間）  
 // 29. 5. 1 出雲鉄道株式会社を吸収合併し、「立久恵線」として開業  
 // 29. 12. 1 島根鉄道株式会社を吸収合併し、「広瀬線」として開業  
 // 35. 6. 20 鉄道広瀬線（出雲広瀬～荒島間 8.3 扣）運輸営業を廃止  
 // 36. 8. 1 一畑薬師専用自動車道開通（一畑口～一畑薬師、一畑坂下間 6.3 扣）  
 // 37. 4. 21 一畑薬師専用自動車道を自動車道事業として営業開始（一畑口～一畑薬師、一畑坂下間 6.3 扣）（54. 9. 24 営業廃止）  
 // 40. 2. 17 鉄道立久恵線（出雲市～出雲須佐間 18.7 扣）の運輸営業を廃止  
 // 41. 9. 1 鉄道の列車集中制御装置（CTC）完工・全線開始
- 昭和 49. 欠損補助金の交付  
 // 53. 3. 16 鉄道大社線ワンマン化実施  
 // 57. 5. 1 身体障害者旅客運賃割引規程の一部改正  
 新制度としてフリー乗車券、乗り継ぎ回数券、お買い物定期
- 平成 4. 3. 25 プログラム式運行管理システム完成（PRC使用開始）  
 // 5. 経営改善 5 ヶ年計画の策定  
 「欠損補助金」（平成 5 年度～平成 9 年度）の交付  
 // 7. 10. 1 A T S 導入  
 // 7. 11. 20 ノーマイカーデー用「島根県バス回数券」開始  
 // 7. 12. 1 通勤半額助成制度の創設  
 // 7. 12. 15 時差・休日回数券の発売開始  
 // 9. 新経営改善 5 ヶ年計画の策定  
 平成 9 年度「欠損補助金」の打ち切り  
 自治体分「運行維持補助金」（平成 9 年度～平成 13 年度分）の交付  
 // 9. 5. 8 シルバーデー創設（毎月 8 日）  
 // 9. 7. 7 平田市駅駅舎改築に合わせ、パーク＆ライドシステム導入（50 台）  
 // 9. 8. 1 ノーマイカーデー回数券利用拡大（平日 20 時以降の指定便に利用拡大）  
 // 9. 10. 1 L & R チケットの創設（電車＋レイクラインバス）  
 // 9. 12. 20 シルバーきっぷ創設  
 // 10. 1. 8 通学学期定期助成制度の創設

- 〃 10. 4. 1 パーク&ライド無料駐車場の増設（2ヶ所から7ヶ所へ）
- 〃 10. 8. 1 自転車持込制度の拡大 {
  - 利用可能駅有人駅+湖遊館新駅+浜山公園北口
  - 料金片道一律300円
- 〃 11. 1. 21 パーフェクトチケット創設（一畑電車・バス+松江市営バス）
- 〃 11. 2. 1 身体障害者・精神薄弱者旅客運賃割引の一部改正（回数乗車券）
- 〃 11. 4. 1 団体運賃割引率の改定
- 〃 11. 4. 29 自転車持込制度の拡大（利用駅を全駅に）
- 〃 11. 10. 1 環境定期券制度の創設
- 〃 11. 10. 1 障害者割引制度の一部改正（精神障害者の追加）
- 〃 11. 11. 1 パーク&ライド社会実験の実施
- 〃 12. 4. 1 パーク&ライド駐車場の増設（7ヶ所から8ヶ所へ）
- 〃 12. 4. 29 自転車持込回数券の創設
- 〃 14. 1. 1 出雲大社・松江観光周遊チケットの発売
- 〃 15. 4. 20 ノーマイカーデー用島根県バス回数券の廃止
- 〃 15. 4. 21 ノーマイカーデー一畑電車回数券の創設
- 〃 15. 6. 8 シニア定期券「ゆ・る・りパス」の創設
- 〃 16. 3. 15 土・日・祝日専用回数乗車券「4枚切符」の創設
- 〃 16. 11. 1 通勤定期券ポイント制度の創設
- 〃 18. 3. 31 ノーマイカーデー用回数券、休日専用回数券、出雲の国周遊切符の廃止  
「神話の国 縁結び周遊切符」の創設
- 〃 18. 4. 1 一畑電気鉄道株式会社から一畑電車株式会社に移管
- 〃 18. 4. 16 菜の花鉄道まつりの開催
- 〃 18. 5. 10 自転車持ち込みの時間変更（平日を終日に変更）
- 〃 19. 3. 31 「神話の国 縁結び周遊きっぷ」、「L&Rチケット」、「パーフェクトチケット」の廃止
- 〃 19. 4. 1 「縁結び パーフェクトチケット」の創設
- 〃 19. 4. 1 シルバーきっぷの車内発売開始
- 〃 19. 4. 28 ラッピング列車「しんじ湖ラムサール号」の運用開始
- 〃 21. 2. 16 「エコデン定期券」の発売
- 〃 21. 5. 16 のんびりポタポタチケット発売開始



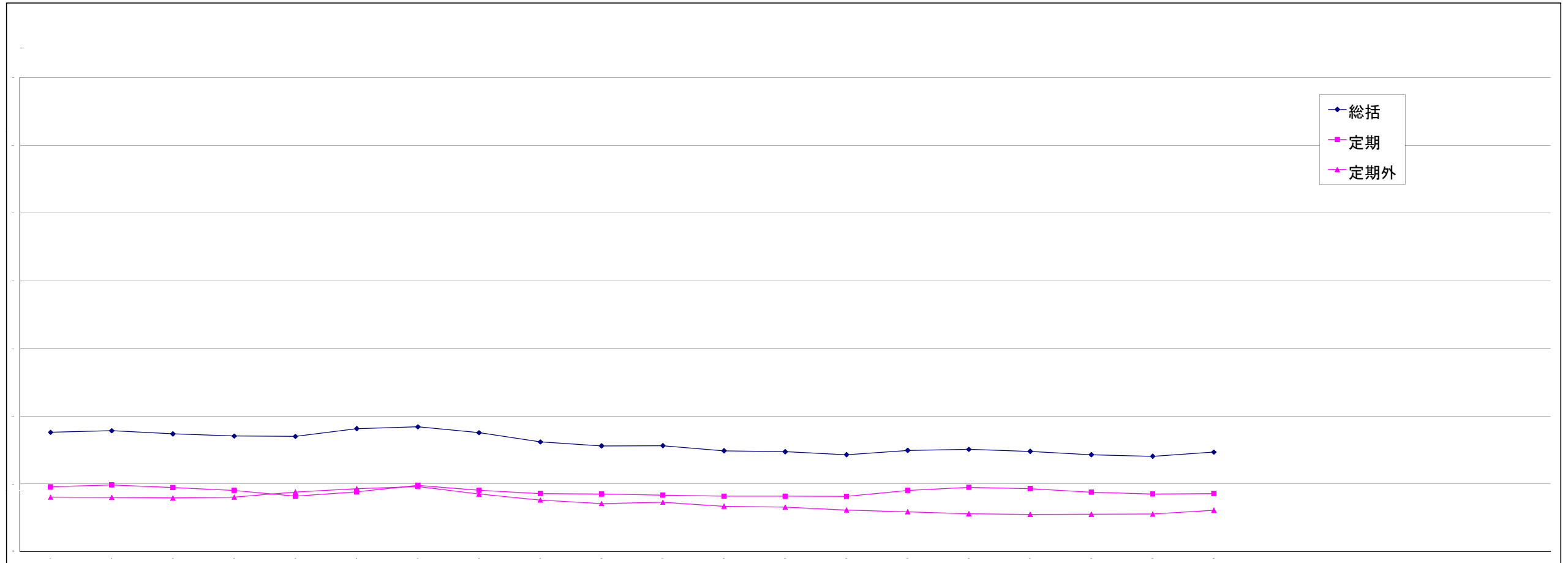
# 鉄道輸送人員推移表(S39~S63)



年度	S39	S40	S41	S42	S43	S44	S45	S46	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63
総括	5,716	5,578	5,742	5,890	5,735	5,526	4,969	4,748	4,042	4,007	4,102	3,809	3,743	3,420	3,318	3,163	3,080	2,801	2,719	2,512	2,429	2,249	2,068	1,901	1,835
定期	3,799	3,635	3,803	3,933	3,763	3,584	3,212	3,020	2,493	2,410	2,437	2,188	2,166	1,965	1,908	1,828	1,802	1,626	1,545	1,435	1,382	1,287	1,154	1,057	1,004
定期外	1,917	1,943	1,939	1,957	1,972	1,942	1,757	1,728	1,549	1,597	1,665	1,621	1,577	1,455	1,401	1,334	1,278	1,175	1,174	1,077	1,047	963	914	844	831
指数	総括			100	97	94	84	81	69	68	70	65	64	58	56	54	52	48	46	43	41	38	35	32	31
	定期			100	96	91	82	77	63	61	62	56	55	50	49	46	46	41	39	36	35	33	29	27	26
	定期外			100	101	99	90	88	79	82	85	83	81	74	72	68	65	60	60	55	54	49	47	43	42

※指数は、昭和42年を100とした割合を示す。

# 鉄道輸送人員推移表(H1~H20)

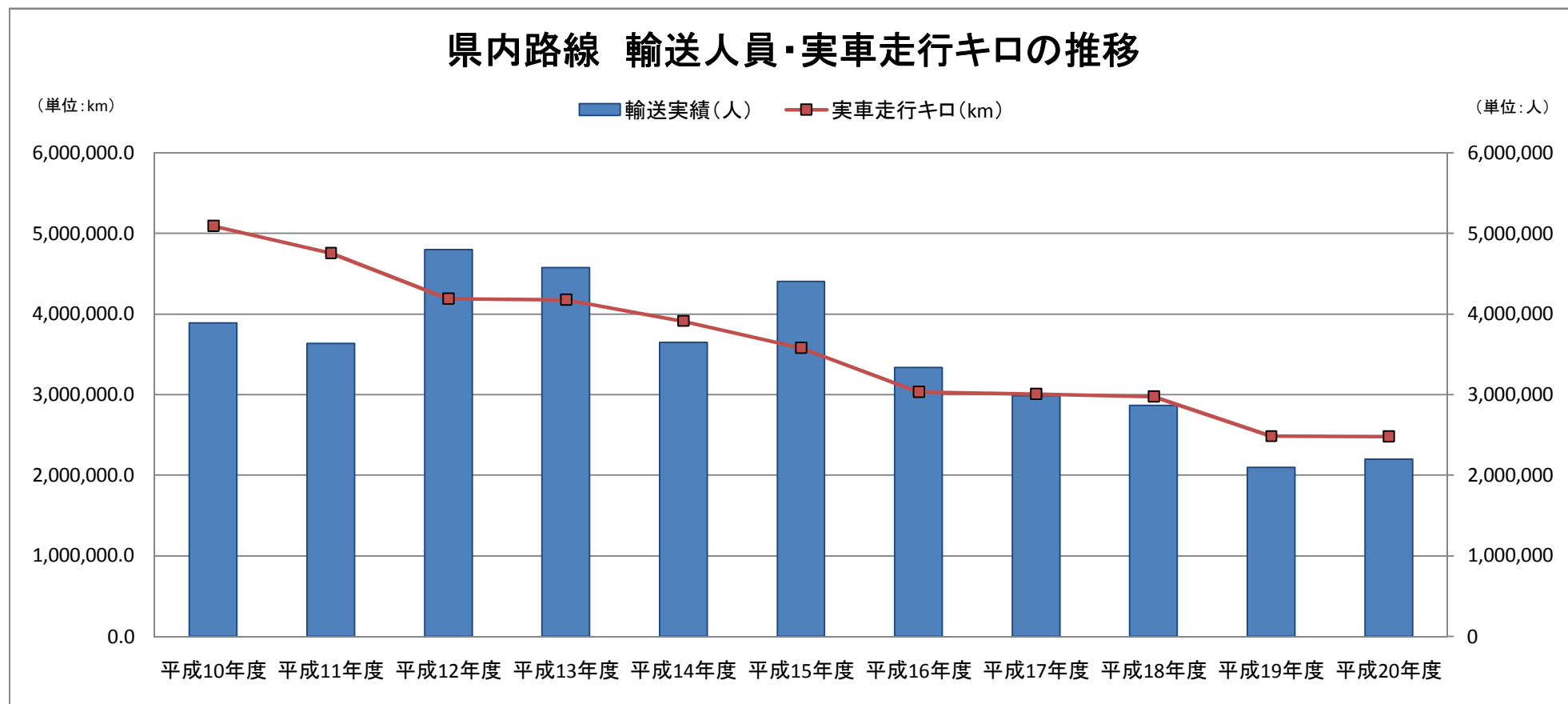


年度	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20					
総括	1,763	1,786	1,739	1,708	1,702	1,816	1,844	1,757	1,621	1,561	1,565	1,490	1,476	1,432	1,495	1,511	1,481	1,431	1,408	1,471					
定期	958	985	947	904	820	885	980	906	859	851	835	820	819	817	905	950	930	878	852	859					
定期外	805	802	793	805	882	931	963	851	762	710	730	670	657	615	590	561	551	553	556	612					
指数	総括	30	30	30	29	29	31	31	30	28	27	27	25	25	24	25	26	25	24	24	86				
	定期	24	25	24	23	21	23	25	23	22	22	21	21	21	21	23	24	24	22	22	95				
	定期外	41	41	41	41	45	48	49	43	39	36	37	34	34	31	30	29	28	28	28	76				

※指数は、昭和42年を100とした割合を示す。

## 一畑バス 県内路線 輸送人員・実車走行キロの推移




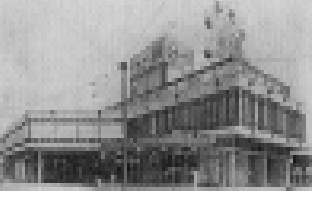
乗合(県内)	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
輸送実績(人)	3,890,601	3,637,171	4,798,028	4,575,759	3,646,801	4,407,754	3,337,972	2,990,098	2,864,713	2,094,860	2,201,107
実車走行キロ(km)	5,092,063.9	4,756,170.9	4,191,138.3	4,177,912.2	3,913,005.5	3,581,774.1	3,033,370.4	3,006,788.4	2,975,388.8	2,483,082.3	2,479,837.4



- ※平成12年4月一畑バス(株)営業開始(一畑電鉄(株)から分社)
- ※平成12～18年度の間、高齢者福祉定期券を発売。
- ※平成19年4月松江市交通体系再編。
- ※平成20年4月～8月出雲大社遷宮に伴う、本殿特別拝観。
- ※平成21年上期(4～9月)輸送実績990,748人(前年上期:1,129,158人)

# 一畑グループの沿革

歴代社長 (在任期間)	西 暦 (年 号)	月	沿	革
	明治 1911(44)	8	大阪の才賀藤吉氏外 14 名が発起人となり、出雲今市～一畑間の 軽便鉄道敷設免許を受ける。(現・電鉄出雲市～一畑坂下間)	
才賀藤吉 (1912.4～ 1914.12)	1912(45)	4	一畑軽便鉄道株式会社を簸川郡平田町(現・出雲市)に創立。	▲一畑坂下までの線路工事。 大正 3 年、一畑滝付近
	大正 1914( 3)	4	出雲今市～雲州平田間の運輸営業を開始。(現・電鉄出雲市～雲 州平田間)	
木佐徳三郎 (1914.12～ 1925.7)	1915( 4)	2	雲州平田～一畑間の運輸営業を開始。(現・雲州平田～一畑坂下 間)	
	1925(14)	7	社名を一畑電気鉄道株式会社と改称。	▲軽便鉄道時代の列車
大谷彌吉 (1925.7～ 1938.1)	昭和 1927( 2)	10	出雲今市～一畑間を電化して運輸営業を開始。(現・電鉄出雲市 ～一畑坂下間)	
	1928( 3)	4	小境灘～北松江間の運輸営業を開始。(現・一畑口～松江しんじ 湖温泉間)	
	1930( 5)	2	川跡～大社神門間の運輸営業を開始。(現・川跡～出雲大社前 間)	
		4	三葉自動車の大社町内路線を買収し、乗合自動車事業の営業を 開始。その後 S21.5 までに松江自動車株式会社、美保関自動車 株式会社、島根観光株式会社、出雲遊覧株式会社、文化自動車 株式会社、株式会社昭和自動車商会、株式会社仁多自動車商 会、恵曇自動車(村営)、鰐淵自動車合資会社などの自動車事業を 買収合併し、事業を拡大。	▲大正 3 年当時の雲州平田 駅構内と列車
山本権七 (1938.2～ 1940.7)				
	1943(18)	7	有限会社出雲ゴム工業所設立。(現・ブリヂストンタイヤ島根販売 株式会社。H11.3 に全株式を株式会社ブリヂストンへ譲渡)	
板倉隆治 (1940.7～ 1947.2)	1944(19)	11	小境灘～一畑間の鉄道路線(3.3km)の軌条を企業再建整備のため 運輸省より供出を命ぜられて撤去、営業を休止。(現・一畑口～ 一畑坂下間)	▲大正初期の一畑駅
	1950(25)	10	松江～広島間の直通急行バス営業開始。(開通時、全国最長路 線)	
竹原熊重 (1947.2～ 1948.6)	1951(26)	12	本社を簸川郡平田町より松江市国屋町に移転。(現・松江市中原 町)	
		12	広島～宮島口間のバス営業開始。(S48.12 運行休止、S58.3 運行 廃止)	
	1952(27)	6	本社の新社屋落成(現在の社屋)。併せて創立 40 周年記念式を挙 行。	▲昭和 3 年建設当時の 北松江駅
山本孝吉 (1948.6～ 1965.5)				

歴代社長 (在任期間)	西暦 (年号)	月	沿革	
 大谷昌行 (1965.5～1999.6)	昭和 1953(28)	8	松江タクシー株式会社及びまいるタクシー株式会社を買収し、タクシー事業を本格的に拡充強化。	
	1954(29)	5	出雲鉄道株式会社を吸収合併。(S40.2 鉄道立久恵線・出雲市～出雲須佐間 18.7km の運輸営業を廃止)	▲松江～広島線を走ったトレールバス。(昭和26年頃)
		6	隠岐島後において自動車事業の営業開始。(隠岐汽船株式会社から自動車事業を買収)	
		12	島根鉄道株式会社を吸収合併。(S35.6 鉄道広瀬線・出雲広瀬～荒島間 8.3km の運輸営業を廃止)	
	1955(30)	11	いずも観光サービス株式会社設立。(S48.11 株式会社一畑トラベルサービスに改称)	
	1958(33)	9	鏡谷末次郎氏から自動車事業を買収し、隠岐島前において自動車事業の営業開始。(S47.5 地元業者に路線を譲渡し島前から撤収)	▲開店当時の一畑百貨店松江店(昭和33年)
		10	一畑百貨店を松江に開店、経営多角化に着手。(売場面積 3,102m <sup>2</sup> )	
	1961(36)	4	一畑自動車練習場の営業開始。(S40.4 事業閉鎖)	
		8	一畑薬師専用自動車道開通。 (一畑口～一畑薬師、一畑坂下間 6.3km。S37.4 自動車道事業として営業開始。S50.4 に一畑口～一畑坂下間 3.276km を廃止、S54.9 に全線を営業廃止)	
		10	一畑山上に山陰唯一の一畑遊園地を開園。(S54.8 に閉鎖)	
	1962(37)	7	創立 50 周年の記念式挙行。(一畑レストハウスにて)	
		7	一畑レストハウス完成、営業開始。(S54.8 閉鎖)	
		7	航空代理業の営業開始。	
	1963(38)	1	サービスセンター開所 (S48.12 一畑トラベルサービスへ移管)	▲一畑パークとレストハウス
		5	平田自動車学校営業開始。(S38.11 平田自動車教習所に名称変更。現在の株式会社平田自動車教習所の前身)	
		9	合同汽船株式会社の経営に参画。(S57.1 清算結了)	
		10	一畑百貨店松江店増床改装オープン。(売場面積 3,925m <sup>2</sup> )	
	1964(39)	4	一畑電鉄出雲市ターミナルビル完成。	
		4	一畑百貨店出雲支店出雲市駅に併設オープン。(売場面積 1,427m <sup>2</sup> )	▲出雲市駅に併設してオープンした一畑百貨店出雲支店
		1965(40)	6	来待自動車整備工場完成。松江・出雲両工場を統合。(現・カーテックス一畑 整備事業本部)

歴代社長 (在任期間)	西暦 (年号)	月	沿 革
	昭和 1966(41)	3	一畑商事株式会社設立。(S41.6 一畑興業株式会社、S50.10 一畑工業株式会社に改称)
		9	鉄道列車集中制御装置(C・T・C)完工・全線開始。
		12	一畑百貨店出雲支店店舗拡張工事完成営業開始。 (その後、S49.4、S55.10、S63.9 に増築・増床し売場面積は約5600m <sup>2</sup> となる)
	1967(42)	3	玉造保養所みづほ荘完成。(S57.4 閉館)
		7	株式会社一畑電鉄ストア設立。(H8.6 閉店、同年12月清算終了)
		8	山陰シボレックス工事株式会社設立。(S53.11 清算終了)
		11	平田市駅新築完成(現・雲州平田駅)、併設の一畑電鉄ストア開店。(H8.6 閉店)
		12	株式会社ホテル一畑設立。(松江市千鳥町。S43.10 営業開始。 H17.10 営業部門を一畑ホテルマネジメントに分割し、資産運営部門は一畑電鉄に吸収合併)
	1968(43)	3	出雲市営バス事業を譲り受け運行開始。
	1969(44)	1	ホテル一畑、政府登録国際観光旅館登録。
		4	松江～益田間の特急バス開通。(S50.4 運行休止)
		7	一畑商事株式会社設立。(松江市本郷町。一畑興業株式会社商事部から分離、同年8月営業開始。H17.4 一畑電設株式会社に吸収合併)
	1970(45)	9	島根小松フォークリフト株式会社設立。(S47.3 山陰小松フォークリフト株式会社に改称。S62.2 全株式を小松フォークリフト株式会社へ売却)
		4	ホテル一畑、政府登録国際観光ホテル登録ホテルとなる。
	1971(46)	6	一畑商事、本社を松江市中原町に移転。
4		ホテル一畑、植樹祭のため昭和天皇・皇后両陛下ご宿泊。	
	1971(46)	4	一畑百貨店松江店店舗拡張工事完成営業開始。(売場面積7,025m <sup>2</sup> )
		6	山陰帝人冷蔵株式会社設立。(S56.10 株式会社サンテイに改称。S63.10 大一海産株式会社へ営業譲渡)
		10	松江一畑タクシー株式会社設立(松江市母衣町)、出雲一畑タクシー株式会社設立(出雲市今市町)、平田一畑タクシー株式会社設立(平田市平田町)。(一畑電鉄の一般乗用旅客自動車運送事業の一部を3社に譲渡し、S46.12 営業開始。H14.4 出雲一畑タクシー株式会社が平田一畑タクシー株式会社を吸収合併し、出雲一畑交通株式会社に改称。松江一畑タクシー株式会社は H 18.2 松江一畑交通株式会社に改称)



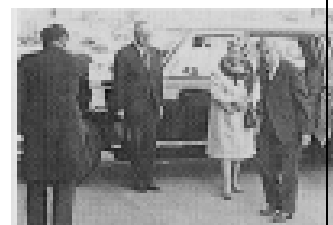
▲旧自動車整備工場の建物の一部を改装して一畑興業の新社屋を建設(昭和41年)



▲平田市駅新築完成。併設の一畑電鉄ストア開店(昭和42年)

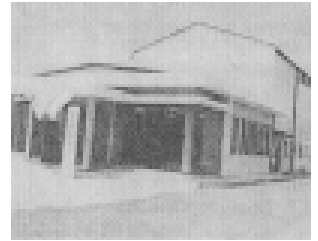


▲開業当初のホテル一畑(昭和43年)

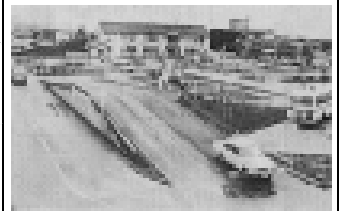


▲ホテルにご到着の昭和天皇・皇后両陛下(昭和46年)

歴代社長 (在任期間)	西暦 (年号)	月	沿 革
	昭和 1972(47)	2	出雲一畑タクシー、本社を出雲市大津町へ移転。
		4	株式会社いずも設立。(簸川郡大社町。S55.9 より営業休止、H16.1 ホテル一畑へ吸収合併)
		6	隠岐観光商事株式会社設立。(S58.3 清算終了)
	1973(48)	5	山陰セキスイハウス株式会社設立。(S60.3 全株式をセキスイハウス株式会社他に売却)
		5	株式会社一畑友の会設立。(松江市殿町)
		10	一畑商事、本社を八束郡宍道町へ新築移転。(現・一畑住設)
		12	株式会社平田自動車教習所設立。(平田市平田町。S49.1 営業開始)
	1974(49)	4	一畑電工株式会社設立。(現・一畑住設)
		8	一畑建機株式会社設立。(S54.3 清算終了)
		9	一菱冷熱株式会社設立。(現・一畑住設)
	1975(50)	4	一畑自動車整備株式会社設立。(八束郡宍道町) S50.5 営業開始。来待自動車整備工場を本社及び工場とする。(H16.10 島根ヤナセ株式会社を吸収合併し、株式会社カーテックス一畑に改称)
		6	山陰ハイム株式会社設立。(S58.3 全株式を積水化学工業株式会社に譲渡)
		8	一畑電工株式会社と一菱冷熱株式会社が合併し社名を一畑電設株式会社として再発足。本社を松江市東朝日町に置く。
		8	株式会社一畑工務店設立。(松江市中原町。H17.10 一畑工業株式会社へ吸収合併)
	1976(51)	1	一畑グループ共通のシンボルマーク制定。(現在の社章)
1		平田一畑タクシー、現在地(出雲市平田町)へ新築移転。	
3		いずも、有限会社三福タクシーに出資し経営権を取得。その後、一畑電鉄が出資し、一畑電鉄といずもの合併となる。(S57.3 社名を双葉タクシーに変更)	
8		松江一畑タクシー及び出雲一畑タクシー、一般貸切旅客自動車運送事業の経営免許認可。(松江一畑タクシー、出雲一畑タクシー同年10月より運行開始)	
10		ホテル一畑、第一次増築オープン。(本館部分)	



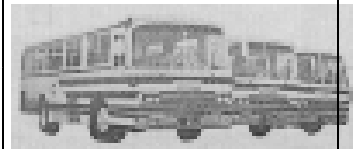
▲新築移転当時の一畑商事新社屋(昭和48年)



▲昭和49年当時の平田自動車教習所



▲昭和49年当時の一畑電工社屋



▲昭和51年当時の松江一畑タクシーの貸切バス



▲第1次増築オープン当時のホテル一畑(昭和51年)

歴代社長 (在任期間)	西 曆 (年 号)	月	沿 革	
	昭和 1977(52)	2	一畑トラベルサービス、一般旅行代理店業認可。	
	1978(53)	3	鉄道大社線ワンマン化実施。	
		7	いずも、大社観光株式会社を買収。日御碕レスハウスの経営を引き継ぐ。	▲一畑百貨店松江店の新館完成。 ツインタウンとしてオープン
	1980(55)	3	観光島根株式会社の株式を取得し、経営に参画。(S58.4株式会社ホテル一畑に吸収合併)	
		10	いずも、経営効率化のため営業を大社観光株式会社へ譲渡。	
	1981(56)	7	一畑トラベルサービス、一般旅行業登録認可。	
	1982(57)	9	一畑百貨店松江店新館完成、ツインタウンとして全館増床改装オープン(売場面積 10,876m <sup>2</sup> )。	▲現在地へ本社を新築移転した 一畑トラベルサービス
	1984(59)	5	株式会社一畑百貨店設立。(松江市殿町。H12.4 精算結了)	
		5	松江一畑タクシー、松江市西川津町に新築移転。	
		8	百貨店業を株式会社一畑百貨店に譲渡。	
	1986(61)	4	一畑トラベルサービス、現在地(松江市中原町)に本社新築移転。	▲出雲～東京線出発式
	1988(63)	6	一畑立体駐車場完成営業開始。268 台収容。	
		10	一畑百貨店、創業 30 周年松江店増床改装グランドオープン。(売場面積 11,652m <sup>2</sup> )	
		12	松江一畑タクシー、出雲一畑タクシー、一般乗合旅客自動車運送事業の経営免許認可。(空港線に限る。同年 12 月より運行開始)	
		12	長距離高速バス出雲～東京線運行開始。これより H3.5 にかけて出雲～新大阪線、松江～岡山線、松江～広島線、松江～福岡線、出雲～広島線の長距離高速バスを運行開始。	
	平成 1990( 2)	5	一畑外車販売株式会社設立。(松江市学園) 同年 6 月島根ヤナセ株式会社に商号変更。同年 10 月営業開始。H16.10に一畑自動車整備株式会社に吸収合併(現・株式会社カーテックス一畑)	
	1991( 3)	2	一畑トラベルサービス、国際航空運送協会(IATA)公認。	
	1992( 4)	3	ホテル一畑、第 2 次増築オープン。(新館部分)	
		10	平田自動車教習所、現在地(出雲市国富町)へ新築移転オープン。	▲ホテル一畑第 2 次増築オープン (平成 4 年 3 月)



歴代社長 (在任期間)	西 曆 (年 号)	月	沿 革
 大谷厚郎 1999.6～	平成 1994( 6)	8	大社観光、日御碕レストハウス閉鎖。
	1995( 7)	5	ホテル一畑、プライダルチャペルオープン。
		10	湖遊館新駅新設。
		11	隠岐一畑交通株式会社設立。(隠岐郡西郷町。H7.12 一畑電鉄の隠岐島後のバス路線を引き継ぎ営業開始)。
		12	双葉タクシー、現在地(松江市西尾町)へ新築移転。
	1996( 8)	1	双葉タクシー、有限会社から株式会社へ組織変更。
		4	一畑電鉄三成営業所を廃止し、仁多町と第三セクターのバス会社、仁多交通株式会社設立。
		4	大社観光、観光センターいずもを新装オープン。
		7	一畑グループ各社従業員を対象とした一畑電鉄従業員持株会発足。
		7	一畑工務店、現在地(松江市中原町)へ本社を新築移転。
	1997( 9)	10	株式会社松江ターミナルデパート設立。(松江市朝日町。H15.3 株式会社一畑百貨店に商号変更)
	1998(10)	3	株式会社一畑百貨店松江店(殿町)閉店。
		3	松江一畑タクシー、現在地(松江市上東川津町)へ新築移転。
		3	島根ヤナセ、サービス工場が指定自動車整備事業所の指定を受ける。
		4	株式会社松江ターミナルデパート営業開始。(株式会社一畑百貨店の営業を移管。松江店をJR松江駅前に移転オープン)
		4	一畑友の会、現在地(松江市朝日町)へ移転。
		4	自動車リース代理業開始。(オリックス自動車株式会社代理店)
		10	平田営業所廃止。(市内全バス路線を廃止し、平田市生活バスに移管)
	1999(11)	2	双葉太陽交通株式会社設立。(松江市西尾町。双葉タクシーの全額出資により設立。太陽タクシー有限会社より営業を譲り受け、同年4月より営業開始。H14.4 双葉タクシー株式会社に吸収合併)
		7	自動車運行管理事業を開始。
8		一畑バス株式会社設立。(松江市西川津町。H12.4 営業開始)	



▲新装オープンした観光センターいずも (平成8年4月)



▲新築移転した一畑工務店 (平成8年7月)



▲本社を新築移転した松江一畑タクシー (平成10年3月)



▲JR松江駅前に移転オープンした松江店 (平成10年4月)

歴代社長 (在任期間)	西暦 (年号)	月	沿 革	
	平成 2000(12)	2	一畑百貨店出雲店閉店。(仮店舗で営業継続の後、H13.9 に複合ビルに入居)	 <p>▲平成12年4月に開設された一畑グループホームページ</p>
		3	広瀬営業所廃止(安来・広瀬地区におけるバス路線を廃止し、安来・能義・広域行政組合に移管)、観光部安来営業所を廃止。	
		4	一畑グループホームページ開設。	
		6	一畑バス、松江市交通局と共にバスロケーションシステムの運用開始。	
		10	山陰の観光情報を満載したホームページ「さんいん旅ねっと」を開設。	
		12	電鉄出雲市駅高架事業完成。	
	2001(13)	4	ホテル一畑、本館をリニューアルオープン。	 <p>▲高架化された電鉄出雲市駅</p>  <p>▲平成13年4月から運行を始めた「まつえウォーカー」</p>  <p>▲平成13年9月にオープンした複合ビル</p>
		4	一畑バス、100円バス「まつえウォーカー」の運行開始。	
		4	古江駅を「ルイス・C. ティファニー庭園美術館前駅」に改称。	
		7	一畑工業、ISO9001S(2000年版)の認証取得。(山陰地方の建設会社では初めての取得)	
		7	松江フォーゲルパーク駅開業(新設)	
		9	一畑百貨店出雲店跡地に複合ビルオープン(ツインリープホテル出雲、銀座ライオン、一畑百貨店出雲店)	
		9	一畑百貨店 大田ショップオープン。	
2002(14)	4	出雲一畑タクシーと平田一畑タクシーが合併し社名を「出雲一畑交通株式会社」、双葉タクシーと双葉太陽交通が合併し社名を「双葉タクシー株式会社」とした。	 <p>▲平成14年12月に移転新築した松江温泉駅。同年4月に「松江しんじ湖温泉駅」に改称。</p>  <p>▲88周年記念事業として制作された「みんなの宍道湖」と「一畑軽便鉄道の時代」</p>	
	4	松江温泉駅を「松江しんじ湖温泉駅」に改称。		
	4	鉄道開業88周年記念事業の一環として、書籍「みんなの宍道湖～自然観察ハンドブック～」とCDアルバム「一畑軽便鉄道の時代」を制作し、沿線の市町や小中学校等に贈呈。		
	4	一畑商事、住宅用基礎鋼管杭施工事業を開始。		

歴代社長 (在任期間)	西暦 (年号)	月	沿革	
	平成 2002(14)	7	大和紡前駅を「出雲科学館パークタウン前駅」に改称。	 <p>▲平成14年10月に移転新築された出雲一畑交通本社屋</p>  <p>▲平成14年12月に新築された大津町駅</p>
		10	出雲一畑交通、現在地(出雲市常松町)へ本社を新築移転。	
		10	一畑バス、長距離高速バス出雲・松江～京都線「出雲阿国号」運行開始。高速バスのインターネット予約システムを導入。	
		10	双葉タクシー、城北巡回福祉タクシー運行開始。	
		12	大津町駅新築	
		12	一畑電設、ISO9001・2000の認証を取得	
	2003(15)	3	松江ターミナルデパート、社名を「株式会社一畑百貨店」に商号変更	 <p>▲平成15年6月に導入された小型運賃で利用できる車椅子専用タクシー</p>  <p>▲平成16年2月に運行開始した「出雲市福祉バス」</p>
		3	平田自動車教習所、山陰地方の自動車教習所としては初めて大型二種免許教習の指定を受ける。	
		4	外食事業を開始。(ホテル一畑の館外レストラン3店と一畑百貨店松江店内のレストラン「銀座ライオン」の合計4店を一括して一畑電鉄が経営)	
		6	出雲一畑交通、小型運賃で利用できる車椅子専用タクシーを山陰地方で初めて導入。	
		8	一畑バス、長距離バス松江～福岡線の昼行便を運行開始。	
		10	ホテル一畑、「第23回全国豊かな海づくり大会」御臨席のため、天皇・皇后両陛下ご宿泊。	
2004(16)	11	東京営業所の名称を、グループ東京営業所に改め、島根県の情報発信拠点としてオープンした「にほんばし島根館」内へ移転。	 <p>▲平成16年3月に運行開始した介護タクシー「車椅子専用車」</p>	
	1	ホテル一畑、営業休止中の「株式会社いずも」を吸収合併。		
	2	出雲一畑交通、出雲市の福祉事業の一環として「出雲市福祉バス」運行開始。		
	3	松江一畑タクシー、介護保険の要介護認定者を対象にした介護タクシー事業開始。		
	3	株式会社SPCN一畑設立。(松江市中原町。H18.2 清算結了)		
	4	大社観光、社名を「株式会社いずも」に商号変更		
	5	一畑電設、太陽光発電システムの販売・施工を目的に、「京セラソーラーFC松江」開業		

歴代社長 (在任期間)	西 曆 (年 号)	月	沿 革
	平成 2004(16)	6	一畑グループ中期経営計画策定(平成16年度～平成18年度)
		7	一畑自動車整備、松江工場開設。
		10	一畑自動車整備株式会社と島根ヤナセ株式会社が合併し、社名を「株式会社カーテックス一畑」とする。
		12	株式会社一畑プランニング設立。(松江市中原町。一畑電鉄の広告部門、オートリース部門と一畑トラベルサービスの保険部門を統合し、H17.4月営業開始。)
		12	一畑不動産株式会社設立。(松江市中原町。一畑電鉄の不動産部を移管し、H17.4月営業開始。)
	2005(17)	2	カーテックス一畑、ISO14001の認証を取得。
		3	財団法人日本情報処理開発協会より、プライバシーマークの付与認定を受ける。
		3	平田市駅を「雲州平田駅」に改称。
		4	一畑電設株式会社と一畑商事株式会社が合併し、社名を「一畑住設株式会社」とする。
		6	隠岐一畑交通、レンタカー事業営業開始。
		7	一畑ホテルマネジメント株式会社を設立。(H17.10株式会社ホテル一畑に商号変更)
		9	一畑百貨店内「アゼーリア」を外食事業部にて運営開始。
		9	いずも、仕上げ折・弁当配達を行う配膳事業開始。
		10	ホテル一畑の営業部門を一畑ホテルマネジメントに分割し、資産運営部門は一畑電鉄に吸収合併。これに伴い、一畑ホテルマネジメントの商号をホテル一畑に変更。
		10	一畑工業、「株式会社一畑工務店」を吸収合併。
		10	平成19年3月開館予定の「島根県立古代出雲歴史博物館」の指定管理者に「ミュージアムいちばた(丹青社・近畿日本ツーリストとの共同企業体)が内定。
		12	一畑グループ各社役員を対象とした一畑電鉄役員持株会発足。
		2006(18)	2
	3		出雲一畑交通、霊柩自動車事業を開始。



▲平成16年10月合併した、(株)カーテックス一畑整備事業本部社屋



▲一畑電鉄、プライバシーマークの付与認定を受ける。(平成17年3月)



▲出雲一畑交通、霊柩自動車の運行を開始。(平成18年3月)



歴代社長 (在任期間)	西暦 (年号)	月	沿 革
平成 2006(18)		4	一畑電車株式会社を分社型新設分割により設立。(出雲市平田町。一畑電鉄の鉄道事業を承継。H18.4月営業開始。)
		4	一畑トラベルサービス、一畑電鉄の航空代理事業(出雲空港売店を除く)を分社型吸収分割により承継。
		4	一畑百貨店、一畑電鉄の航空代理事業のうち、出雲空港売店を分社型吸収分割により承継。
		4	ホテル一畑、一畑電鉄のホテル事業(ツインリープスホテル出雲)を分社型吸収分割により承継。
		4	いずも、一畑電鉄の外食事業を分社型吸収分割により承継。
		4	いずも、松江市の観光施設「堀川・松江地ビール館」の営業を開始。(くにびき農業協同組合から引き継ぐ) 松江一畑交通、出雲一畑交通、一畑バス 3社へ一畑電鉄の貸切事業の運行・受注等の各機能を移管。これに伴い、松江一畑交通内にグループの貸切バスの受注受付・配車機能を一元管理する一畑観光受注センターを新設。
		6	一畑電鉄、クールビズ及びウォームビズの取り組み開始。
		7	隠岐空港、ジェット機就航可能となる新空港開港。
		8	交通関係6社からなる交通安全部会を設置し、輸送の安全性向上に向けた取り組みを開始。
		10	島根ヤナセ、拠点名「メルセデス・ベンツ島根」として再スタート。
2007(19)		3	指定管理者として業務を受託した「島根県立古代出雲歴史博物館」が開館。
		4	一畑電車、ラッピング電車『しんじ湖ラムサール号』運行開始
		4	一畑松江しんじ湖温泉ビル(旧めのう会館)の改装工事が完了し、一畑トラベルサービス本社と一畑工業本社が同ビルに移転入居。これに伴い、一畑トラベルサービス本社のサービスカウンター業務は分離し、新たに「松江しんじ湖温泉支店」として松江しんじ湖温泉西側の店舗で営業開始。 一畑不動産、営業部を松江しんじ湖温泉西側の店舗に移転。
		5	一畑不動産、管理サービス部を一畑立体駐車場(松江市殿町)に移転。
		5	一畑電車、日本一長い駅名『ルイス・C.ティファニー庭園美術館前駅』から『松江イングリッシュガーデン前駅』へ改称。
		5	一畑百貨店、創業50周年を記念し、地元レーベル所属の六子(LOCO)によるオリジナルソング「ありがとう」を制作。
		6	一畑バス、初のラッピングバス「人権啓発ラッピングバス」を運行。
		7	一畑電車、観光案内・乗降補助・乗換案内を行う「電車アテンダント」の乗務を開始。
		7	一畑電車、電車ガイドがトミーテック社からフィギュアモデルに採用。



▲堀川・地ビール館営業開始(平成18年4月)



▲メルセデス・ベンツ島根(平成18年9月)



▲島根県立古代出雲歴史博物館オープン(平成19年3月)



▲電車ガイドがフィギュアモデルに採用(平成19年7月)



▲しんじ湖ラムサール号運行開始(平成19年4月)

歴代社長 (在任期間)	西暦 (年号)	月	沿革
	平成 2007(19)		一畑トラベルサービス、日本・台湾間の双方向の初の国際チャーター便を同社単独で主催。
	2008(20)	2	平田自動車教習所、フォークリフト運転技能講習を開始。
		4	島根県出身の錦織良成監督によるしまね3部作最終作、一畑電車を題材にした映画「BATADEN」(仮称)の制作を発表。(同年9月に撮影開始)
		9	一畑百貨店、創業50周年を迎えて社員大会および記念式典・祝賀会を開催。
		9	松江一畑交通・双葉タクシー、タクシー無線のデジタル化を山陰で初めて導入。同時に衛星利用測位システム(GPS)を活用した車両の位置確認・配車システムの運用を導入し、両社の受注・配車の一元管理を開始。
		10	ホテル一畑、創業40周年を記念し、「40周年前の復刻メニュー」を期間限定で提供。
		12	ミツワタクシー(株)の全株式を取得。ミツワタクシーが新たに一畑グループの一員となる。
		2009(21)	2
	3		(株)いずも、出雲大社前神門通りに「いずも縁結び本舗」を営業開始。
	3		一畑電車(株)、デハニ50形(52号・53号)の営業運行を終了。
	4		一畑住設(株)、本社および設備部を松江市東朝日町から松江市宍道町に移転。
	6		(株)一畑トラベルサービス、出雲空港ターミナルビル1階に一畑トラベルカウンターを開設。
		10	(株)一畑プランニング及び一畑不動産(株)を吸収合併。(株)一畑プランニングのスタッフサービス部は松江一畑交通(株)に事業を移管。



▲BATADEN(仮称)映画制作発表(平成20年4月)



▲一畑百貨店創業50周年



▲ミツワタクシー(株)の全株式を取得(平成20年12月)

# 一畑バス株式会社歴史年表

- 平成11.08.27 一畑バス株式会社設立
- 12.04.01 一畑バス株式会社営業開始（資本金3億円・従業員257名・車両数170両）  
高速バス予約センターを一畑トラベルより一畑バスへ移行  
定期観光A・B2コースに変更（園山俊二キャラクター採用・堀川遊覧セット）  
高齢者福祉定期券「エバーグリーンパス」発売開始※対象者65歳以上  
※1年定期券 12,000円、半年定期券 7,000円  
ワイドフリー制度導入（土・日・祝は定期券で特殊路線を除く全線使用可）  
広瀬・伯太・安来路線廃止（大新東株式会社で委託運行）  
自動硬貨計算機・バスカード精算機導入
- 12.04.07 東京線のりばを渋谷東急イン前から渋谷マークシティに変更
- 12.04.20 大阪線昼行便5往復を7往復に増便・夜行便1往復新設
- 12.06.01 JR松江駅駅前整備事業完了  
松江管内バスロケーションシステム可動  
モニター制度開始
- 12.07.01 高速バス車内紙SUKI発行開始（年間4回発行）
- 12.08.01 一畑グループホームページ運用開始
- 12.08.20 高速バス後面PR開始（松江-広島線・堀川遊覧船デザイン化）
- 12.08.26 玉造案内所新築移転
- 12.09.01 出雲市駅前ロータリー完成
- 12.09.20 松江-広島線GPS到着時刻予測システム可動（一畑9両・広電8両装備）
- 12.10.01 朝日ヶ丘団地乗り入れ・法吉うぐいす台乗り入れ  
出雲管内大寺・根波・外園線を廃止し、出雲市運行委託方式に変更
- 12.10.06 鳥取西部大地震（13時30分）
- 12.11.01 出雲管内西浜線廃止
- 12.12. 一畑電車出雲市駅高架完成・出雲駅前整備事業完成
- 13.03.24 山陰自動車道部分開通（安来IC～宍道IC間）
- 13.04. 広島線休憩場所を赤名より道の駅布野へ変更
- 13.04.01 松江管内ダイヤ大幅変更  
出雲管内支社移転に伴う大幅ダイヤ変更  
美保関町営バス運行開始（美保関ターミナル）  
桜台線運行開始  
出雲郷東出雲延長  
100円バスまつえウォーカー運行開始  
松江市内3ミニ循環線運行開始（法吉・四季ヶ丘・矢田ループ）  
100円バスIzumo市内循環線運行開始  
LED式行先表示松江管内96両装備完了  
バスロケ停留所13年度分13基運用開始  
エバーグリーンパス発売継続  
※1年25,000円、半年定期券15,000円、3ヶ月券9,000円※新設  
大庭車庫・本庄車庫廃止
- 13.04.10 ノンステップバス導入（3両）※自動車事故対策費補助金で購入
- 13.04.20 岡山線出雲まで延長  
出雲広島線全便普通便化（スーパーみこと廃止）

- 平成13. 04. 20 全路線山陰自動車道へ乗せ替え  
 福岡線の始発地の変更：松江温泉→松江駅  
 松江広島線の休憩地の変更：赤名田村→道の駅布野  
 日ノ丸自動車・米子～松江線（山陰道経由）運行開始
13. 04. 28 ティファニー美術館開館  
 市営バスティファニーレイクライン運行開始  
 市営バス上記に伴うレイクライン減便
13. 04. 29 トミカ定期観光オリジナルミニカー発売開始
13. 05. 01 市営バス平成町へ移転・大幅ダイヤ改正  
 市営バス 100 円病院ミニ循環線運行開始  
 市営バス八重垣・大庭運行開始  
 市営バスレイクライン運賃 100 円に
13. 07. 18 中国ジェイアールバス神戸線運行開始（昼行 1 往復・夜行 1 往復）
13. 07. 23 フォーゲルパークオープン
13. 08. 01 一般バスミニポケット時刻表配布開始
13. 08. 09 中国ジェイアールバス東京線に 2 階建車両（ダブルデッカー）導入
13. 09. 11 アメリカ同時多発テロ発生 世界貿易センター飛行機突入・ツインビル倒壊
13. 09. 13 バスの日行事  
 [写生会/たまち保育園（写生画 9/20～30 まつえウォーカー車内展示）]
13. 09. 16 ツインリーブスホテル出雲オープン
13. 09. 21 中国バス・尾道～米子線を松江まで延長
13. 10. 01 一般路線バス 車両位置情報提供（パソコン・携帯電話）※松江国道工事事務所主体  
 テクノアークしまね乗り入れ開始（四季ヶ丘線）  
 東出雲町コーナスタウン乗り入れ開始  
 時刻変更（4 月変更ダイヤの修正）
13. 10. 10 インターネット時刻案内（情報センターより松江市観光文化課へ移行）
13. 11. 01 上講武線新設（4 往復）鹿島町より単独補助を受け運行（4 条）
13. 11. 04 鉄道開業 88 周年記念事業  
 「学ぼう宍道湖、遊ぼう宍道湖」にバスの学校として参画
13. 12. 18 一畑電鉄松江温泉駅新築
14. 01. 01 年末年始を固定ダイヤで運行
14. 02. 01 バス事業規制緩和実施
14. 03. 18 島根県東部ユニバーサルデザイン協議会設立（国土交通省・島根県主催）
14. 04. 01 松江～広島線ノンストップ便 2 往復増便 12 往復を 14 往復に増便  
 ノンストップ便を高速 4 号線西風トンネル経由に変更  
 定期観光 2 コースを 1 コースに変更 昼食・観覧地オプション化実施  
 新補助制度開始（平成 13 年 10 月実績より）  
 学校全土曜休 実施  
 全土曜日を日・祝ダイヤ運行に変更（一畑・市営・電車）  
 バスロケ業務用ソフト稼働開始  
 停留所時刻表シール方式に変更  
 通勤定期 3 割引を 4 割引に・通学定期 4 割引を 5 割引に変更（一畑・市営・石見）  
 まつえウォーカー終便減便・朝通勤便新設  
 八重垣ループ新設  
 野波線を松江～美保関 T 系統と美保関 T～野波系統に変更  
 御津経由加賀廃止し、大内谷経由沖泊に変更  
 矢田ループ合庁経由を松山経由に変更



- 美保関スクールノンストップ便運行開始  
東出雲団地～コーナスタウン間廃止
- 平成14. 04. 01 中戸線・桜台線廃止  
大社線海岸系統廃止  
田儀線、小田線系統整理  
エバーグリーンパス発売継続  
※1年25,000円、半年定期券15,000円、3ヶ月券9,000円（前年同額）
14. 05. 11 大谷昌行氏葬儀 一畑電鉄・商工会議所・日本海テレビ合同  
14. 05. 20 一般路線バス 時刻表サービス追加（パソコン・携帯電話）  
14. 05. 29 大谷昌行氏告別式（県民会館） 一畑電鉄・商工会議所・日本海テレビ合同  
14. 07. 01 上講武線6往復を10往復に増便 鹿島町より依頼  
14. 07. 02 ノンステップバス導入（3両）※自動車事故対策費補助金で購入  
14. 07. 08 京都線許可申請提出（運輸支局） 4社一斉  
14. 08. 01 福岡線運賃上げ 松江＝福岡 8,000円→8,800円  
14. 09. 01 東京側東急バス大橋車庫からジェイアールバス関東車庫へ変更  
14. 09. 12 バスカードデザイン変更 神話シリーズ開始（4種）  
14. 10. 01 大野線4条廃止 21条で運行  
21条路線大寺線・外園線・根波線廃止スサノオ観光で受託  
発車オーライシステム導入  
インターネット予約・ローソン・ファミリーマート発券  
一畑バスホームページデザイン変更
14. 10. 08 京都線予約開始  
14. 10. 18 出雲・松江～京都線運行開始  
一畑・京阪・中国JR・西日本JR4社共同運行開始  
14. 10. 22 隠岐汽船接続バス運賃変更（境水道大橋無料化に伴い）  
七類（990円→1,000円）境港（1,160円→1,100円）  
14. 10. 22 隠岐汽船接続バス運賃変更 加賀（770円→690円）  
14. 10. 31 株主優待乗車証の廃止  
14. 12. 01 法吉ループ線うぐいす苑経由に変更（右まわり3便・左まわり3便）  
14. 12. 01 フリー乗降区間見直し 大東線・和田～北垣廃止  
14. 12. 10 飲酒運転防止に関する規定を設け、全職員対象にアルコール検知器による検査を開始  
14. 12. 17 松江・木次線バイパス供用開始  
15. 01. 01 年末・年始土日祝ダイヤで運行1日～3日（病院線・免許センター線運休）  
15. 01. 15 四季ヶ丘線にテクノアークしまね入口新設  
15. 01. 30 PTPS実施（松江駅～県民会館間1.6km12交差点）  
【一般路線車両97両、松江広島線車両8両機器搭載 ※松江市交通局車両56両】
15. 03. 16 宍道IC～三刀屋木次IC供用開始  
15. 04. 01 一畑バス社員化（出向→転籍）  
野波～美保関ターミナル間廃止 美保関ターミナル～笠浦間 美保関町営バスで運行  
野波～笠浦間 島根町より単独補助を受けて運行（21条）  
出雲管内、平成温泉線・商業高校線廃止  
バスカード10,000円券廃止（島根県下バス事業者一斉）  
市営バスレイクライン運賃200円に
15. 04. 10 松江しんじ湖温泉駅前ロータリーの供用開始  
※オープニングセレモニーは4/17実施  
15. 04. 19 隠岐汽船接続バス運賃変更  
加賀（690円→700円）既存路線との調整（沖泊線の経路変更に伴い）

15. 04. 20 東京線・京都線・大阪線・岡山線・松江広島線＝松江木次バイパス経由に変更  
松江広島線、高速道三刀屋まで延長・高速道加茂全便停車・木次停留所移設
- 平成15. 04. 20 出雲広島線、全便広島西風トンネル経由に変更 全便「大塚駅」新設  
松江・出雲広島線、運賃値上げ 3,950円区間のみ→4,000円、往復7,000円→7,200円  
岡山線増便 4往復→7往復 中国JRバス参入  
ツインリーブホテル 高速バス早朝デユースプラン開始
15. 04. 26 東京線に2階建車両(ダブルデッカー)導入
15. 04. 28 福岡線昼行便許可申請提出(運輸支局)
15. 05. 01 ノーマイカーデー1日・20日バス運賃半額廃止(島根県下バス事業者一斉)  
※ノーマイカーデー1日・20日運賃半額は一畑電車のみ継続  
デジタルタコグラフを導入(高速、貸切全車両に搭載34台)
15. 06. 02 八雲車庫7:30発に2号車を設定
15. 06. 16 野波～笠浦間一部時刻改正
15. 07. 01 大野線一部時刻改正(電車との接続の為)  
新松江警察署前バス停新設
15. 07. 10 日本旅行「バスぶらざ」で定期観光バスの予約受付開始
15. 07. 19 JR松江駅前にて路線バス案内業務開始  
※～11/30土日祝10:00～15:00、8/13-15 10:00～15:00)
15. 08. 01 出雲西高線廃止  
福岡線昼行便運行開始(出雲市駅を経由せず。夜行便も時刻改正)  
福岡線でポイントカード制を導入
15. 09. 01 出雲市内循環線 運賃変更 100円→150円  
松江広島線にモバイルチケットを導入
15. 09. 日ノ丸自動車・米子～松江線(山陰道経由)廃止
15. 09. 11 モーニング娘。コンサートシャトルバス運行
15. 10. 20 東出雲線(東出雲町団地～一畑バス本社)廃止  
東高校線 発地変更 東出雲町団地→出雲郷(東出雲町団地、東出雲郷廃止)
15. 12. 01 四季ヶ丘ループ線廃止 四季ヶ丘線、ソフトビジネスパーク線新設  
病院線ダイヤ削減(最終便1往復減便、土・日・祝全便運休)  
朝日ヶ丘・授産センター線減便時刻改正  
免許センター線経路変更(松江しんじ湖温泉経由に)  
朝日ヶ丘・免許センター線新設(国屋経由)  
商業高校線松江駅▲8:10発を各駅停車に変更
15. 12. 30 年末・年始(12/30-1/3)土日祝ダイヤで運行(1/1～3の一部路線についてはさらに削減)
16. 02. 01 矢田ループ線廃止  
八重垣ループ線廃止  
松江市内線廃止  
須賀線廃止  
美保関線(5往復10便)ダイヤ削減  
乃木ループ線新設  
大庭・八雲線全便松江しんじ湖温泉始発に(15分に1便を30分に1便に)  
八重垣線を新設し相生町経由、檜山経由で運行
16. 03. 15 一畑電車時刻改正にあわせ一部ダイヤ改正
16. 04. 01 定期観光バスコース改正  
まつえウォーカー1日フリー乗車券発売(大人300円、小人150円)  
大阪線往復割引区間を全区間に設定  
大阪線回数券の割引率を変更し4枚綴りとする

- 日本旅行「インターネット乗車票（パウチャー）」の取り扱いを開始  
 ※京都線、大阪線、福岡線
- 平成16. 04. 01 こも沢線廃止  
 八雲車庫▲17:40 発を内陸工業団地経由とする  
 沖泊線をマリンゲートしまね線とし、マリンゲートしまね前止めとする  
 上講武線を御津線とし、御津止めとする  
 島根町町営バス受託運行開始(21 条)  
 鹿島町コミュニティバス受託運行開始(21 条)  
 エバーグリーンバス継続発売  
 ※1年定期券 40,000 円、半年定期券 25,000 円、3ヶ月定期券 15,000 円に値上げ
16. 04. 19 JRとの接続改善のため御津発7:15→7:10に変更
16. 05. 01 高速バス東京線車内サービス品（お茶）の廃止
16. 06. 01 まつえウォーカー経路変更（千鳥町、千鳥南公園バス停新設）  
 まつえウォーカーダイヤ削減  
 （右まわり左まわり各36便を右まわり23便左まわり24便に）  
 ホテル一畑で定期観光バス乗車券及びまつえウォーカーフリー乗車券の取り扱い開始
16. 06. 10 一畑トラベルサービス平田営業所閉鎖
16. 06. 11 出雲一畑交通平田営業所にて高速バス乗車券予約、発券開始
16. 06. 27 道の駅「キララ多伎」で高速バス関連イベント開催
16. 07. 01 島根町町営バス時刻改正（マリンゲートしまね線との接続改善のため）  
 鹿島町コミュニティバスにフリーバス区間を設定  
 高速バス岡山線車内サービス品（お茶）の廃止
16. 07. 30 中国04 総体に伴い恵曇、片句、古浦線を臨時経路で運行（～8月5日）
16. 08. 01 高速バス福岡線車内サービス品（お茶）の廃止  
 県民会館前バス停を一カ所に統合  
 停留所名変更：「国立療養所松江病院前」→「国立松江病院前」  
 日本旅行「インターネット乗車票（パウチャー）」の取り扱いを開始  
 ※東京線、出雲～広島線
16. 08. 30 台風16号の影響により松江市内及び高速線の一部を運休  
 【松江市内39便、高速バス54便（内一畑便27便）】
16. 09. 01 福岡線ポイントカード配布の中止
16. 09. 07 台風18号の影響により松江市内、出雲市内及び高速線の一部を運休  
 【松江市内336便、出雲市内79便、高速バス65便（内一畑便31便）】
16. 09. 10 中国ジェイアールバス名古屋線運行開始（夜行1往復）
16. 09. 30 松江広島線のモバイルチケット取り扱いを中止
16. 10. 01 鹿島町コミュニティバス時刻改正  
 八雲台入口バス停供用開始
16. 10. 20 台風23号の影響により松江市内、出雲市内及び高速線の一部を運休  
 【松江市内154便、出雲市内31便、高速バス22便（内一畑便8便）】
16. 10. 21 台風23号の影響により高速線の一部を運休【4便（内一畑便0便）】
16. 11. 01 高速バス福岡線昼行便の時刻改正  
 福岡線ポイントカード押印の中止  
 発車オ～ライネット決済サービス開始（松江～広島線、福岡線）  
 島根町町営バス新系統（マリンゲートしまね～御津）、一部時刻改正  
 市町村合併「雲南市」（加茂町、三刀屋町、木次町、大東町、掛合町、吉田村が合併）
16. 12. 28 千支バスカード（酉年）3,000枚限定で発売
16. 12. 30 年末・年始(12/30-1/3)土日祝ダイヤで運行（1/1～3の一部路線についてはさらに削減）

16. 12. 31 積雪のため高速バス一部運休【23便（内一畑便7便）】
17. 01. 01 積雪のため高速バス一部運休【1便（内一畑便0便）】
- 平成17. 01. 01 市町村合併「飯南町」（頓原町、赤来町が合併）
17. 01. 11 「三刀屋サンライン前」バス停を雲南市下熊谷バスセンター内に移設
17. 01. 15 ばすてるバックスペシャル（福岡）発売開始（～H17.3.31）
17. 02. 01 積雪のため高速バス松江～広島線運休【6便（内一畑便0便）】
17. 02. 02 積雪のため高速バス松江・出雲～広島線、福岡線（昼行便）運休  
【46便（内一畑便24便）】
17. 03. 01 「一畑バス本社」バス停を追子団地内に移設
17. 03. 20 エバーグリーンバス発売開始。特典を付与（大東ゆとりの里、メテオプラザ、ホテル一畑）
17. 03. 22 市町村合併「出雲市」（出雲市、平田市、大社町、佐田町、多伎町、湖陵町が合併）  
停留所名変更：「佐田役場前」→「出雲市役所佐田支所前」、  
「湖陵町役場入口」→「湖陵郵便局前」
17. 03. 31 市町村合併「松江市」  
（松江市、美保関町、島根町、鹿島町、宍道町、玉湯町、八束町、八雲村が合併）
17. 04. 01 八雲線、恵曇・古浦線、美保関線、大東線、商業高校線のダイヤ改正、生馬が丘線減便、  
乃木ループ線廃止、松江駅→美保関ターミナルノンストップ便新設  
停留所名変更：「鹿島町役場前」→「松江市役所鹿島支所前」、  
「上佐太」→「上佐陀」「下佐太」→「下佐陀」「下佐太下」→「下佐陀下」  
「玉湯町役場入口」→「松江市役所玉湯支所入口」）
- 定期観光バス廃止（運行開始は昭和37年）  
まつえウォーカー特典施設の変更（シャミネ松江廃止、殿町一色庵追加）  
パーフェクトチケット特典施設追加（ルイス・C、ティファニー庭園美術館）  
高速バス京都線発券精算に変更
17. 04. 05 特定旅客自動車運送事業（43条）許可
17. 04. 08 特定旅客自動車運送事業（島根小中学校スクールバス）運行開始
17. 04. 25 一畑百貨店出雲店にてバスカードの取り扱い開始
17. 04. 29 ホテルα-1松江・松江第2にてバスカード・まつえウォーカーフリー乗車券の取り扱い開始
17. 05. 01 高速バス乗継企画「出雲・松江～大阪線+阪急梅田～愛知万博会場」発売
17. 05. 16 島根小学校でバスの学校を実施
17. 06. 01 高速バス福岡線ベットの持ち込み全面禁止
17. 06. 03 ホテル一畑にて船車券とまつえウォーカー1日フリー乗車券との引き換え開始
17. 07. 01 高速バス乗継企画「出雲・松江～岡山線+岡山～徳島線」発売
17. 07. 11 西郷港に設置の券売機を廃止
17. 07. 12 隠岐汽船窓口にて乗車券の販売を開始
17. 08. 01 鹿島町コミュニティバスダイヤ改正（恵曇・片句・古浦線との接続改善）  
松江市交通局ダイヤ改正（松江市立病院の移転に伴い）
17. 08. 06 エネルギーフェスタ臨時シャトルバス運行（～7日）各日3台運行利用者0名
17. 09. 01 福岡線昼行便廃止（運行開始平成15年8月1日）
17. 09. 06 台風14号の影響により松江市内、出雲市内及び高速線の一部を運休  
【松江市内226便、出雲市内37便、高速バス62便（内一畑便31便）】
17. 09. 07 台風14号の影響により出雲市内及び高速線の一部を運休  
【松江市内29便、出雲市内3便、高速バス15便（内一畑便6便）】
17. 09. 30 須佐連絡所廃止
17. 10. 01 ばすてるバック京都発売開始（オプションに定期観光をつける）
17. 10. 16 情報処理試験臨時シャトルバス運行
17. 10. 22 “滝翼出雲魂咲会跳”シャトルバス運行（13台）

17. 10. 23 ケアマネージャー資格試験シャトルバス運行
17. 11. 11 神迎祭臨時シャトルバス運行
- 平成17. 10. 26 「天神町中央（西進）」を新設。まつえウォーカー、商業高校線で使用
17. 12. 30 年末・年始(12/30-1/3)土日祝ダイヤで運行（1/1～3の一部路線についてはさらに削減）
18. 01. 08 松江～加賀港系統（レインボー接続バス）の廃止※隠岐汽船 加賀航路廃止
18. 02. 11 隠岐汽船接続バス、美保関ターミナル⇒松江駅直行便を国道 431 号線バイパス（通称：本庄バイパス）にませ替え  
※松江駅⇒西川津⇒美保関ターミナルは 18. 6. 1 にませ替え
18. 01. 31 一般貨切旅客自動車運送事業 営業区域拡張申請書の提出（18.2.27 認可）  
旧：島根県 ⇒ 新：島根県、境港市、米子市※日吉津村は区域外
18. 03. 13 一畑電車ダイヤ改正に伴いダイヤ改正実施  
（八雲線、玉造線、大東線、朝日ヶ丘・授産センター線、病院線）
18. 04. 01 一畑グループ再編 グループ 17 社（一畑電車(株)、一畑バス(株)、松江一畑交通(株)、出雲一畑交通(株)、双葉タクシー(株)、隠岐一畑交通(株)、(株)一畑トラベルサービス、(株)ホテル一畑、(株)一畑百貨店、(株)一畑友の会、(株)カーテックス一畑、(株)平田教習所、一畑工業(株)、一畑不動産(株)、一畑住設(株)、(株)一畑プランニング  
※一畑電鉄観光部の受注部門⇒松江一畑交通(株)の受注センター（新設）に移管  
〃 企画営業部門⇒一畑トラベルサービスに移管  
※ 〃 のガイド部門⇒(株)一畑プランニングのスタッフサービス部（新設）に移管  
貨切車両増車 6 両⇒8 両 ※一畑電鉄観光部より 4 両譲受
18. 04. 12 ワンステップバス 3 両（スロープ付）購入
18. 04. 20 三刀屋サンライン前 ⇒ 下熊谷バスセンターに名称変更  
大阪線 一部経路変更 ※新大阪付近
18. 06. 01 まつえウォーカー運賃値上げ及び減便  
（1 乗車 100 円⇒150 円、1 日フリー 300 円⇒400 円  
右 23 便、左 24 便⇒右 21 便、左 21 便）  
隠岐汽船接続バスにおいて、運行の中断を採用（終点の 1 つ前のバス停において  
旅客が存しなかった場合帰庫する。※出雲広島線 18. 8.1、松江広島線 18. 9）
18. 07. 11 「子供を守る 110 番バス」運行開始  
※松江管内路線、島根・鹿島コミュニティバス、島根小中学校スクールバス
18. 07. 19 9・17、18 集中豪雨の影響により松江市内、出雲市内、高速バスを他便数運休  
JR 松江駅バスターミナル冠水により、出雲市発の高速線を松江しんじ湖温泉経由で運行  
JR 松江駅バスターミナル 冠水の為隠岐汽船接続バスを附属中学校入口バス停を始発地として運行  
山陰道土砂崩れの為、国道 9 号線経由で運行
18. 07. 20 京都線高頻度割引開始
18. 09. 16 岡山線 岡山インターバス停の新設
18. 09. 17 台風 13 号の影響により松江市内、出雲市内及び高速線の一部を運休  
【9/17 高速線 15 便（内一畑 8 便）】  
【9/18 松江市内 41 便、出雲市内 3 便、廃止代替 8 便、高速線 3 便（内一畑 1 便）】
18. 09. 10 H18 度 第 2 回モニター会議開催 モニター 9 名出席（ホテル一畑にて）  
※モニター制度は当会議をもって休止
18. 10. 01 出雲市内循環線の出雲ドーム～矢野町間を廃止  
※島根県生活交通路線に認定を受け、出雲市より 18. 10. 1 以降単独補助（東中国プロックキロ当たり単価での）を受ける。  
テクノアーク線時刻変更  
※松江市より 18. 9.1 以降 19. 3. 31 間、一畑自社キロ当たり単価での補助を受ける。

- 道路運送法一部改正（乗合事業の範囲の拡大、軽微運賃の届出制 他）
18. 11. 25 山陰道「宍道～斐川 IC」間供用開始 高速バスの乗せ替えは H19.3/1
- 平成18. 12. 30 年末・年始(12/30-1/3)土日祝ダイヤで運行(1/1～3の一部路線についてはさらに削減)
19. 03. 01 東京線 東京駅(八重州南口)乗り入れ開始  
山陰道「宍道 IC～斐川 IC」間延長 ※福岡線除く全路線乗せ替え
19. 03. 31 高齢者福祉定期券「エバグリーンパス」廃止  
ルイス・C、ティファニー庭園美術館 閉館
19. 04. 01 松江市公共交通体系再編  
受け持ち路線分担 基本一畑バス…郊外線、松江市交通局…市内線  
松江管内路線数 20 路線 40 系統 ⇒ 12 路線 30 系統 ※8 路線 10 系統廃止  
廃止路線：まつえウォーカー、八重垣神社線、商業高校線、出雲郷線、病院線、テクノ  
アーク線、平成ニュータウン線  
法吉 R 線、古江線 松江市の補助(一畑自社キロ当たり単価×110%)を受け運行開始(4 条)  
松江市高齢者割引制度・松江市障害者割引制度・松江市通学支援制度運用開始  
田儀線(旧道系統の廃止、R9 系統の小田車庫～越堂間廃止  
※出雲管内路線数 5 路線 9 系統 ⇒ 5 路線 8 系統  
停留所名変更：ルイス・C、ティファニー庭園美術館前 ⇒ イングリッシュガーデン前
19. 04. 01 停留所名変更：コーポ比津が丘前 ⇒ 比津が丘郵便局前  
貸切車両 8 両 ⇒ 5 両体制  
縁結びパーフェクトチケット発売開始  
一畑バス特殊路線除く全路線、松江市交通局全路線、出雲・米子空港連絡バス全線、電車一  
畑全線 3 日間有効 大人 3,000 円、小人 1,500 円※パーフェクトチケット廃止
19. 04. 07 松江開府 400 年祭開幕(5 ヶ年事業) ※オープニングイベント 武者行列
19. 05. 01 大社線北回り系統新設(5 往復運行※南原経由便から移行)  
※出発式を大社連絡所駐車場にて開催。西尾出雲市長 他来賓  
出雲市内循環線にノンステップ車両 3 両導入  
※松江管内(ウォーカー車両を出雲市内循環線へ)  
停留所名変更：四絡公民館前 ⇒ 四絡コミュニティセンター前
19. 05. 23 第 1 回高速バス意見交換会(2 ヶ月毎開催)※一般乗務員との意見交換の場は初
19. 06. 01 車両広告ラッピングを採用(一畑バス初)本社車両、出雲車両 各 1 両
19. 09. 01 障害者優待バスカード制 正式運用開始 ※8/10 より試行運用  
乗合車両に筆談具搭載 ※聴覚障害者等に対応
19. 12. 01 東京線おりばの変更(東京駅八重州南口→東京駅日本橋口 ※のりばの変更は無し)
19. 12. 25 大東線経路変更(乃白バイパス経由)に伴う運賃改定
20. 03. 25 私鉄一畑労組 24H ストライキ 欠便数：松江管内 3 路線 8 便、出雲管内 2 路線 3 便
20. 04. 01 ダイヤ改正 改正内容：松江管内停留所間の所要時分の変更  
※始発地の発車時刻は変更せず  
貸切バス 備車料方式からバス代收受方式に変更
20. 04. 20 出雲大社仮遷宮祭 本殿公開(特別拝観 4/21～4/23、4/26～5/6、5/13～5/18、  
8/1～8・17)
20. 05. 16 大阪線 サービス品(お茶、ビデオ)の廃止  
※阪急バスも併せて廃止 中国 JR バスは廃止済み
20. 05. 17 東京線開設 20 周年記念企画実施(山陰中央新報にアンケートの募集広告を掲載し、回答者  
より 10 組 20 名の方へ東京線往復乗車券を進呈)
20. 06. 19 ダイヤ改正 改正内容：出雲管内停留所間の所要時分の変更、大社線北回り系統時刻変更  
出雲市内循環線の「ゆめタウンイズミ」乗入れ 10 往復→14 往復
20. 07. 01 東京線 新名神高速道路への乗せ替え、新木場駅へ延伸

20. 09. 01 松江市交通局 高齢者福祉定期「だんだんパス」発売開始 ※65歳以上対象
20. 11. 28 出雲支社洗車機取替え(8,760,000円)  
出雲広島線 西風新都地内経路変更(系統キロ+0.1km増)※松江広島線は12/15実施
20. 12. 01 大社線 「ショッピングタウンエル前」停留所新設
20. 12. 09 ファミリーマートでのバスカード発売開始  
(松江管内12店舗、出雲管内7店舗 ※ローソン松江管内8店舗、ポプラ松江管内7店舗)
20. 12. 20 松江広島線 広島電鉄PASPY(非接触カード)導入 ※一畑バスは導入せず
21. 01. 01 大阪府流入規制開始(自動車Nox・PM法に基づく車両流入規制)
21. 02. 01 チャレンジキャンペーン(全員参加提案キャンペーン)の実施  
※2月中募集。69件の提案有り。
21. 04. 01 福岡線 中国JRバスと共同運行開始  
出雲市内循環線ダイヤ改正(右14便、左14便 ⇒ 右10便、左10便)  
停留所名変更: 国立松江病院前 ⇒ 松江医療センター前
21. 04. 10 岡山線400号車、貸切397号車納車 ※岡山線車両=デラックスシート
21. 04. 28 松江〜福岡間ツアーバス運行開始(5/6まで)  
※4月中は4/30福岡発のみ運行(梶谷、須田視察の為乗車)5月の運行実績は不明
21. 04. 28 島根発着ツアーバス運行開始〜5/6まで(松江⇄福岡:オリオンツアー)
21. 04. 29 高速道路ETC車載器搭載車両土日祝1,000円開始(地方部)※3/20都市部より実施。  
※2010年までの2年間
21. 05. 16 ホーランエンヤ還御祭(5/20中日祭、5/24渡御祭)経路変更あり
21. 06. 25 株主総会 森山社長昇任 ※清井社長退任(松江一畑交通代表取締役)に就任)
21. 07. 01 高速バス運行経路変更(斐川町内)共同運行会社含む全便  
※東京線、京都線、大阪線、岡山線
21. 08. 01 廃バスカードを利用したバスカード利用促進制度開始(H22.7月までの社会実験)  
(松江市公共交通利用促進市民会議主催)特典施設:90店舗(開始時)  
停留所名変更 京橋合銀前 ⇒ 南殿町
21. 08. 27 一畑電車脱線事故(西浜佐陀町)
21. 08. 30 衆議院議員選挙にて民主党圧勝 民主政権へ
21. 09. 01 一畑バス・松江市営バス共通ファミリー定期制度導入  
(環境省:低炭素面的対策事業補助を受け試験的導入)  
※併せ、ワイドフリー制度一部変更(同乗家族大人100円、小人50円で乗車を認める)  
縁結びパーフェクトチケットのコンビニ(ローソン、ファミリーマート)での発売開始
21. 10. 16 一畑電車&一畑バス共通定期券制度開始(10/9より発売開始)  
(環境省:低炭素面的対策事業補助を受け試験的導入)